

みやぎの酪農農業協同組合第71回通常総会



第71回通常総会

CONTENTS

第71回通常総会の開催……………	1	夏季の生乳及び需給への影響とその対応について…	8
乳質改善共励会・購買品高位利用者が表彰される…	2	飼料情勢……………	9
代表理事組合長 就任挨拶……………	3	夏期休業のお知らせ……………	10
みやぎの酪農農業協同組合 新役員紹介……………	4	新型コロナウイルス感染症関連……………	10
乳質改善共励会 最優秀賞者のご紹介……………	5	理事会通信……………	10
牛舎完成祝い金の贈呈……………	7	売りたい・買いたい……………	11
牛乳の無償提供を実施しました……………	7	人事のお知らせ……………	11
令和2年度 生乳生産実績……………	8	編集後記……………	11

第71回通常総会の開催

去る6月25日(木)に松島町の『ホテル松島大観荘』にて第71回通常総会を開催いたしました。本総会の開催に当たり、新型コロナウイルス感染症拡大防止を主眼に、開催場所の変更、そして議決権については極力、書面による行使をお願いするなど規模の縮小を図る中での総会運営となりました。



伊藤組合長はあいさつの冒頭、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、組合員の健康、安全を最優先に考え、感染の機会を極力減らす為、書面による決議に対するご協力と本日出席した組合員に対して謝意を表しました。

「今年1月新型コロナウイルスが世界中に大流行し、5月に入り緊急事態宣言が解除されたが、終息は予測できません。しかし、この状況は必ず克服されることを歴史は教えており、大切なことは正しく捉え、適切に考え、行動することです。」

酪農乳業界における新型コロナウイルスの影響は生乳需要が大きく減少し、需給調整や消費拡大を進めることで、需給混乱や処理不可能乳を発生させない取り組みを行い、その場合の乳価、輸送費用などは政府で補填されるような仕組みが構築されました。飼料について遅れは発生していないものの、予断を許さない状況のため、今後もより一層機動的かつ十分な情報収集に努めていきます。又、いきすぎた海外依存の危険性が顕著化しており、これを期に過度の貿易自由化に歯止めをかけ、食料の自給率向上を目指すべきであります。

令和元年度における当組合の事業については、年々厳しさを増す経営環境の中、地域酪農の振興を図り、将来における消費者が求める牛乳乳製品を安定的に供給する為、生産基盤の強化と酪農経営の安定を目指し、組合員の営農生活の安定、向上を念頭に置いた事業運営を行い、前年を上回る実績を上げることが出来ました。このことはひとえに、組合員の皆様の組合に対する期待と重要性を認識いただいた賜物と感謝を申し上げ、これまで以上に組合機能が評価され、ご利用いただく為に規模の経済性の追求と相対的な組合利用の有利性の発揮を目指します。

「今後も引き続き、食と酪農を基軸として地域に根ざした専門農協として不断の努力を続け、これまで以上に組合員が酪農に意欲をもてるよう、役職員一丸となり、様々な課題の解決に真摯に取り組んでいきます。」と述べました。

今回の総会につきましては、前掲のとおり組合員の皆様方に書面での決議をお願いし、お陰様をもちまして無事終了することができました。ありがとうございました。

今回の総会の出席状況と賛否の結果は以下のとおりです。

総会日現在正組合員	257名
実際に出席した正組合員(役員含む)	28名
代理人	0名
書面	226名
合計	254名

	議決権数	議決権の過半数等	賛成					反対					結果
			本人	代理	書面	投票	合計	本人	代理	書面	投票	合計	
第1号議案	253	169	27	0	225	/	252	0	0	1	/	1	可決
第2号議案	253	127	27	0	224	/	251	0	0	2	/	2	可決
第3号議案	253	127	27	0	225	/	252	0	0	1	/	1	可決
第4号議案	253	127	27	0	224	/	251	0	0	2	/	2	可決
第5号議案	253	127	27	0	225	/	252	0	0	1	/	1	可決
第6号議案	253	127	/	/	223	27	250	/	/	3	0	3	可決
第7号議案	253	127	27	0	224	/	251	0	0	2	/	2	可決

○第1回乳質改善共励会表彰

◇最優秀賞

鳴子支部 佐々木 純 様

◇優秀賞

登米支部 佐藤 省吾 様

加美支部 佐藤 勝 様

◇優良賞

豊里支部 須藤 元晴 様

登米支部 佐藤 克憲 様

加美支部 正永 昭太郎 様

◇努力賞

伊具支部 高橋 孝志 様

蔵王支部 小島 一也 様

蔵王支部 阿部 賢一 様

白石・七ヶ宿支部 鈴木 正高 様

白石・七ヶ宿支部 片平 敬一 様

名取支部 (株)布田牧場 様

栗原支部 佐藤 忠光 様

大崎支部 我妻 正 様

仙台支部 新田 重恭 様

白石・七ヶ宿支部 佐藤 剛 様

栗原支部 加藤 寿英 様

遠田支部 佐々木 貞裕 様

大崎支部 佐々木 昌之 様

大崎支部 八巻 誠一 様

遠田支部 西條 靖也 様

遠田支部 甲田 末夫 様

本吉支部 小野寺 清一 様

大崎支部 佐々木 修一 様

白石・七ヶ宿支部 齋藤 和宏 様

柴田支部 吉田 敬貴 様

蔵王支部 佐藤 吉彦 様

○購買品高位利用者表彰

蔵王支部 (株)ゼルコバドリーム 様

登米支部 (株)柴田牧場 様

登米支部 (株)シュガーファーム 様

白石・七ヶ宿支部 (有)蔵王プロヴァンスファーム 様

白石・七ヶ宿支部 (株)エムエスファーム 様

白石・七ヶ宿支部 阿部 耕太郎 様

仙台支部 佐藤 正明 様

大崎支部 八巻 誠一 様

鳴子支部 片倉 正人 様

仙台支部 高橋 更一郎 様

柴田支部 柳沼 茂美 様

蔵王支部 小島 一也 様

栗原支部 伊藤 紀彦 様

蔵王支部 山家 善明 様

柴田支部 小笠原 良一 様

仙台支部 庄子 孝喜 様

栗原支部 砂金 甚太郎 様

大崎支部 濱田 茂 様

蔵王支部 廣谷 淳一 様

石巻支部 伊藤 正明 様

伊具支部 佐藤 勝彦 様

登米支部 佐藤 勝雄 様

白石・七ヶ宿支部 (有)ファーム イチカワ 様

蔵王支部 阿部 賢一 様

栗原支部 千田農場(株) 様

蔵王支部 佐藤 晃 様

栗原支部 (有)小山牧場 様

豊里支部 斎 正志 様

伊具支部 高山 英男 様

白石・七ヶ宿支部 鈴木 正高 様

登米支部 武田 健一 様

柴田支部 吉田 敬貴 様

蔵王支部 (有)七日原高原 佐豊牧場 様

柴田支部 佐藤 文昭 様

蔵王支部 佐藤 吉彦 様

白石・七ヶ宿支部 佐藤 剛 様

蔵王支部 大宮 勉 様

栗原支部 熊谷 季喜 様

蔵王支部 小島 精一 様

白石・七ヶ宿支部 佐久間 英明 様

柴田支部 大山 治 様

大崎支部 木村 清一 様

白石・七ヶ宿支部 木村 近雄 様



(鳴子支部 佐々木 純 様)



(登米支部 株式会社 柴田牧場 様)

就任のご挨拶

みやぎの酪農農業協同組合

代表理事組合長 伊藤 一成

梅雨も末期に入り、組合員の皆様におかれましては、何かとお忙しい日々を過ごされていることと、お察し申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今後も長期にわたり組合員皆さまの営農やくらし、地域社会に広範囲に悪影響を及ぼし続けることを非常に懸念しているところであります。

私事、去る6月25日の第71回通常総会にて理事に選任され、同日開催の第3回理事会において代表理事組合長に再任されました。3期目の就任にあたり、その責任の重大さを再認識し、さまざまな課題と激変する社会・酪農情勢に俊敏に対処・対応していく決意であります。

さて、酪農乳業を取り巻く環境は、大きく揺れ動いております。特に今年は、担い手の高齢化や後継者不足、環境問題への対応などの諸問題に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で3月以降の学乳の休止、業務用の牛乳乳製品の大幅な減少などで生乳需給が逼迫から緩和局面に入り、関係者一体となった懸命の努力により、生乳廃棄の危機は脱したものの、今後の飲用需要最盛期と学校の夏休みの短縮が重なり、一転して生乳不足の警戒感が急速に高まっているなど、かつて経験したことのない短期変動が予想されております。

また、平成30年12月のTPP11の発効に続き、日欧EPAが昨年2月に発効したほか、日米貿易協定が本年1月に発効するなど、国際化の進展に伴う乳製品輸入圧力に対処するためには、国産牛乳乳製品の価値をさらに高めることが必要であり、生乳の安定的な供給と同時に、総合的な乳質をさらに向上させるための取組みが求められております。

このような中、私どもがまずやらなければならないことは、常に酪農家目線で組合員の利益を最優先と考え、組合員の営農と生活を守り続けることと考えております。

来年4月には、宮城県酪農団体合理化検討会で協議を進めてきました現行の「5貯乳施設」を「2貯乳施設と1委託」に再編するとともに、61集乳路線を55集乳路線へ合理化をする本県生乳流通体制(岩手県南の一部の生乳含む)の合理化を確実に実現することで、将来にわたる共同活動の基盤を構築し、酪農家の負担経費の削減に寄与して参ります。また、コロナ禍の影響で、海外では多くの生乳が廃棄されており、改めて将来に亘る酪農の安定的な発展のためには、指定団体が生乳の取引、流通、需要調整等に果たす機能と役割が不可欠であることが示されており、その趣旨と重要性を、引き続き丁寧な説明を行って参りたいと存じます。

今後も引き続き、当組合の将来に向けた事業の継続と安定的経営に資するため、全力で業務の改善・改革に取り組む所存でございます。そして「一人は万人のために、万人は一人のために」を基本に、相互扶助のもと、協同組合の基本的存在価値を見失うことなく、共存・共栄を理解しあい、酪農という生業に関わる皆さまが安定した生活が出来ますよう、組合員のご意見を尊重し、「組合員に寄り添った組合経営」を目指し、懸命に努めて参ります。

終わりに組合員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、就任の挨拶といたします。



代表理事組合長
伊藤 一成



代表理事会長
砂金 甚太郎



理事 須藤 元晴



理事 濱田 茂



理事 山家 善明



理事 佐々木 貞裕



理事 青木 五一



理事 江場 稔一



理事 堀籠 銀寿



理事 佐藤 忠光



理事 鈴木 浩行(新)



理事 市川 拓(新)



理事 斎 正志(新)



理事参事 芳村 宏



代表監事 伊藤 仁一



監事 熊谷 正幸(新)



監事 阿部 耕太郎(新)

第1回 乳質改善共励会 最優秀賞者のご紹介



(左:ご主人 佐々木 純様、奥様 のりえ様)

第71回通常総会において、乳質改善共励会の最優秀賞に輝かれた鳴子支部 佐々木純様をご紹介します。佐々木牧場の1年間の乳質検査における結果は以下のとおりです。

項目	FAT (%)	SNF (%)	細菌数	細胞数	蛋白質	乳糖	尿素
平均	4.01	8.85	0.52	5.18	3.45	4.42	11.52

【佐々木牧場の概況】

鳴子支部の支部長でもある純さんと奥様、のりえさんはお2人で経営されており、昭和33年に純さんの父が、当時ではとても珍しいキング式牛舎を新築しました。昭和56年には新たに牛舎を新築され、同時に乳頭への負担が少ないローライン式のパイプラインを導入し搾乳作業をおこなっていましたが、ローラインであるがゆえに汚れが目立つことから、平成8年にハイラインのパイプラインへ変更し、同時に自動給餌機等を導入し現在の経営スタイルになりました。



(キング式牛舎)

【経営について】

飼養頭数は経産牛28頭、未経産牛22頭を飼養され、育成牛については組合の哺育育成事業を活用し預託して労働力軽減を図っております。また、自家産後継牛確保を進める中で、30年程前からホルスタインのレッド種を種付けし、現在では飼養する全頭がレッド種となっているところも佐々木牧場の特徴の一つです。

佐々木牧場では、牛群の個体管理に最大限気を配り、自動給餌機での配合飼料の給与量・時間を細かく調整し5回/日、給与されております。



飼養環境の面では、敷料におが屑を使用し常に乾いた牛床を意識して牛体を清潔に保つようにされており、乳房炎対策となっております。また、乳房炎などの疾病となった牛については、早期に入れ替えるなどして良質乳の生産を図っております。

【自給粗飼料の生産】

現在12haの圃場に永年性牧草を作付けされ、「いい乳はいい草から」をモットーに土壤改良剤として石灰を使用するほか、土壤と堆肥の分析を行い適正量の堆肥を3番草刈取り後に散布するなど徹底した管理を行っております。圃場管理において、特に気を付けている所は雑草（ギシギシ）の除去です。12haの圃場を北海道より取り寄せた道具で歩き雑草を根こそぎ除去するというシンプルではありますが、忍耐力が無ければ到底真似することができない方法で管理をし続けているのです。

そのようにして収穫した牧草を給与する際に気を付けている点は、通年朝に1番草を給与し、夕方には2番3番草を給与するようにして、偏りが出来ないように注意しております。

また毎年、鳴子支部では各自その年に収穫した、自給粗飼料の分析を行い、結果を持ち寄り意見交換する場も設けています。その場では、全酪連仙台支所から講師を招き、研修を受け活発に意見を出し合い、よりよい酪農経営へ繋がるように地域全体の意識向上を図るといった取り組みもおこなっています。



(雑草を除去する道具)



(草地を歩いて雑草を除去する様子)

【終わりに】

今回の取材で佐々木純さんは、「開拓した当初、上原地区では40戸程の酪農家があったが、現在では10戸となった。戸数は減少したが今でも何かあれば集会所等に集まり話し合いの場を設けているため、上原地区の酪農家は団結している。」と語っておりました。

また純さんの楽しみは、酪農ヘルパーを利用して奥様と温泉や旅行に行くことです。研修を兼ねた旅行に行った際には、これから酪農を営む若い夫婦と知り合い、現在でも行き来するなど交友関係を広げています。

純さんは「牛を飼うために生活しているのではなく、生活するために牛を飼っている」と話すように自分達の時間を見つけ、日々の仕事に追われること無く自分達のペースにあった負担の少ない経営が大切だとおっしゃっておりました。

その酪農経営に対する心の余裕こそが、牛の細部にまで目を向ける事ができるのだと取材をとおして思いました。



(管理された綺麗な牧草地)

牛舎完成祝い金の贈呈

指導課

栗原支部の高橋博文牧場が搾乳牛舎を新築されましたので、5月29日に伊藤組合長が訪れ祝い金の贈呈を行いました。

新築した搾乳牛舎(24頭対尻式)は自己資金で建設され、付帯設備については一部、補助事業を活用し整備されました。

さらに、労働負担の軽減を図るため、今年度の補助事業を活用し自動給餌機の導入を進めております。



左：家壽夫氏(父)・博文氏(本人)・伊藤組合長

牛乳の無償提供を実施しました！

宮城県牛乳普及協会

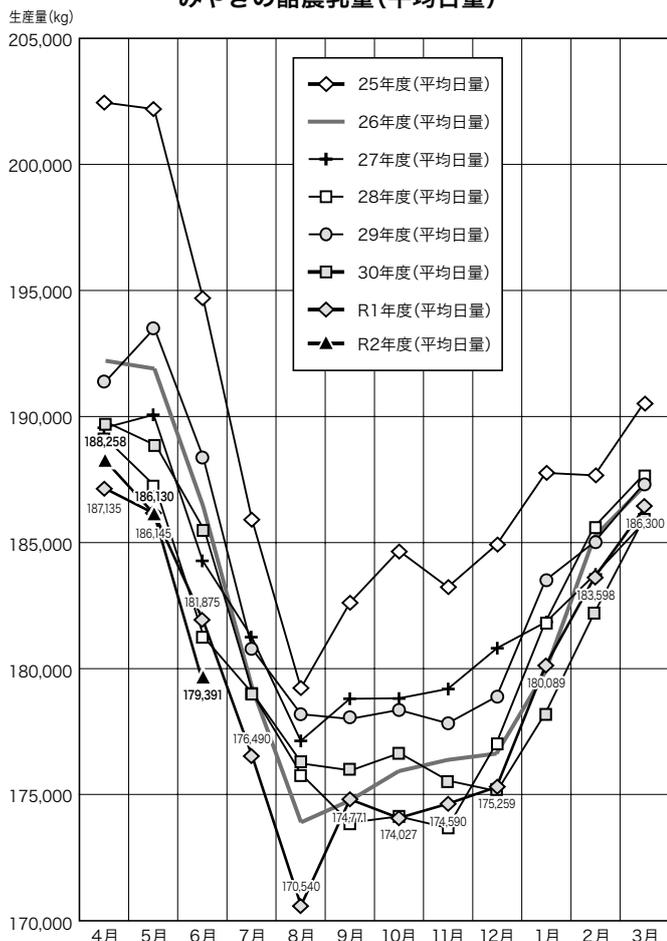
新型コロナウイルス感染拡大を受けて、酪農家が生産した生乳が行き先を失って捨てざるを得なくなるのを防ぐとともに、感染拡大防止に尽力されている医療現場をはじめ、学校の休校や仕事の休業などさまざまな要因で「食」や「栄養」への不安を抱えている方々に牛乳を届けたいとの思いから、一般社団法人Jミルクでは農林水産省・独立行政法人農畜産業振興機構の支援を受け、宮城県は当協会が窓口となり、「牛乳の無償提供」の取り組みを5月25日～6月12日まで実施いたしました。

申込みいただいた医療施設、児童福祉施設、高齢者福祉施設などの約200施設に200mlを38,321本、1,000mlを6,703本無償提供しました。生乳換算にして約14トンになります。

また、提供先の施設から、御礼の手紙や写真入りの色紙など、感謝のお言葉をたくさんいただきました。



みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和2年度生乳生産実績(4月～6月 標準進捗率24.93%)
(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	26	2,310,173.2	2,311,922.6	99.92	8,855,779.0	26.09
蔵王支部	24	2,174,611.0	2,094,050.6	103.85	8,186,599.0	26.56
柴田支部	15	1,081,607.0	1,067,085.0	101.36	4,093,641.0	26.42
伊具支部	18	1,298,656.0	1,333,059.0	97.42	5,054,002.0	25.70
仙台支部	12	896,704.6	956,980.3	93.70	3,599,830.0	24.91
名取支部	6	236,058.0	279,338.0	84.51	926,344.0	25.48
黒川支部	7	322,308.0	319,169.0	100.98	1,257,739.0	25.63
大崎支部	19	888,655.0	867,960.0	102.38	3,307,516.0	26.87
遠田支部	16	1,605,084.0	1,649,046.0	97.33	6,401,031.0	25.08
加美支部	15	640,536.0	644,610.0	99.37	2,328,461.0	27.51
鳴子支部	10	573,119.0	542,904.0	105.57	2,114,532.0	27.10
栗原支部	30	1,621,325.0	1,563,769.0	103.68	6,033,995.0	26.87
登米支部	26	1,794,897.0	1,831,005.0	98.03	7,119,309.0	25.21
志津川支部	9	304,029.0	280,590.0	108.35	1,127,220.0	26.97
本吉支部	6	170,014.0	177,644.0	95.70	647,428.0	26.26
石巻支部	6	255,346.0	272,713.0	93.63	935,129.0	27.31
豊里支部	10	626,347.0	648,945.0	96.52	2,388,445.0	26.22
みやぎの酪農	255	16,799,469.8	16,840,790.5	99.75	64,377,000.0	26.10

※出荷戸数については、直近の数字です。

夏季の生乳及び需給への影響とその対応について

新型コロナウイルスの感染も縮小傾向となったことから、緊急事態宣言が全国的に解除となり、学校給食及び飲食店の再開で徐々に生乳需給も回復基調にあります。

しかし、例年、都府県の生乳需給は9月に強く逼迫しますが、今夏の場合は、学校の夏季休業期間の短縮により7月下旬～8月の一定期間、学校給食用牛乳が提供される自治体もあることから、早ければ7月頃から逼迫感が強まり、9月にかけて生乳供給が追いつかない需給ギャップが想定されます。

特に学校給食用牛乳については、重要な食材の一つで、その栄養価の高さから児童生徒の体位・体力の向上に不可欠なものとなっており、農林水産省より学校給食用牛乳の安定供給について通知されたところです。

つきましては、飲用需要期の乳質事故は、大きな損失及び供給が滞る恐れがありますので、生産者の皆様には乳質事故防止対策及び暑熱対策の徹底をお願い申し上げます。

配合飼料、哺育用代用乳

配合飼料の主原料であるトウモロコシは、今年度の豊作予想及び、新型コロナウイルスの感染拡大によるバイオエタノールの需要減を受けて、相場は軟化しています。大豆粕は外食向け食用油の需要減により発生量が減少していますが、軟調なシカゴ相場の影響を受けて同様に推移しています。糟糠類については、グルテンフィードやふすまが、共に主産物の生産量減少に伴い需給が逼迫し、相場は堅調です。そのため令和2年度第2四半期の配合飼料価格は上記の飼料情勢・為替情勢を踏まえた結果、500円/トンの値下げになりました。

哺育用代用乳について、脱脂粉乳は旺盛な需要による価格上昇から一転、コロナ禍による需要減少で下落に転じているものの、前期より円安となった影響を受けて値上げとなります。また、ホエイパウダーについても、チーズの生産減少により発生量が減少しているため値上がりとなり、結果として13,000円/トンの値上げとなりました。

北米コンテナ情勢

6月に各船会社で予定されていた海上運賃一斉値上げは7月以降に延期されています。

北米—中国間の物流は休便を取りやめるケースもあり、徐々に回復しつつありますが、米国内では再び新型コロナウイルスの感染が拡大しており、コロナ禍前の水準まで回復するには時間がかかりそうで、船腹の逼迫状況はまだ続く模様です。

輸入粗飼料

①ビートパルプ(US産)

20年産の播種は終了しています。ミネソタ州やノースダコタ州での生育は順調ですが、ミシガン州ではダムが決壊し、圃場の約10%に洪水被害が出ています。

②アルファルファ (ワシントン産)

主産地コロンビアベースンでは5月から収穫作業を開始しましたが、直後の1か月間に断続的な降雨があり、雨当たりによって様々なグレードのものが発生しているようです。そのため、プレミアム品の発生は限定的で、価格は堅調です。

③チモシー

(A)US産

主産地での生育は良好で、当初は5月末から収穫が予定されていましたが、天候の安定を待って6月から作業を開始しています。作付面積減少の影響で、新穀価格は上級品を中心に上昇しています。

今年1月に米中間で包括的な貿易協定の第1段階が署名されました。その中にはチモシーの中国への輸出解禁が含まれており、5月に協定書が結ばれ今後輸出が開始される予定となっていますが、新型コロナウイルスに端を発する中国への不満の再燃や、大統領選を見据えたトランプ大統領の強硬な姿勢もあり、米中貿易の先行きは不透明で、今後の影響が懸念されます。

(B)カナダ産

20年産の作付面積は昨年とほぼ同水準になると予想されています。現地では生産率向上と人件費削減のため収穫方法をビッグベールのベ어링マシンに変更する生産農家が増えているようです。

④豪州産オーツヘイ

全体的に理想的なタイミングで作付できており、その後の降雨にも恵まれ、今の所生育は順調です。

夏期休業のお知らせ

総務課

本年の夏期休業は以下のとおりとなっておりますのでお知らせ致します。

休業期間

令和2年8月13日(木)～8月16日(日)

期間中に購買品の品切れがないよう早めの対応をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症関連

総務課

緊急事態宣言が解除され日常の生活が戻りつつありますが、国内での新規感染者は日々増加傾向にあり、当組合としても感染予防対策を引き続き励行しております。ご不便をお掛けすることもあるかと存じますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

理事会通信

総務課

【第2回理事会】

開催日	令和2年5月20日
付議事項	第1号議案 令和元年度決算監査にかかる監事監査報告について
	第2号議案 令和元年度決算書類の承認について
	第3号議案 通常総会の招集について
	第4号議案 定期賞与(6月期)の支給について

【第3回理事会】

開催日	令和2年6月25日
付議事項	第1号議案 代表理事、常勤理事及び役付理事の選任について
	第2号議案 理事の順位について
	第3号議案 令和2年度理事の報酬の配分について
	第4号議案 退任理事に対する役員退職慰労金の支出について
	第5号議案 株式会社みやぎの運送監査役の推薦について
	第6号議案 令和元年度業務報告書の承認について
	第7号議案 令和元年度連結業務報告書の承認について

【初妊牛】

令和2年7月1日

No.	支 部	販 売 者	区 分	分 娩 予 定 日
1	蔵王支部	小島 一也	交雑	9月13日
2	白石・七ヶ宿支部	日下 栄治	交雑	9月14日
3	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	性判別	9月16日
4	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	交雑	9月22日
5	蔵王支部	小島 一也	交雑	9月24日
6	白石・七ヶ宿支部	日下 栄治	交雑	10月20日
7	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	性判別	10月27日
8	白石・七ヶ宿支部	安田 正一	性判別	10月29日
9	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	交雑	11月12日

人事のお知らせ

総務課

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正 職 員	菅原 光義	定年により退職	総務課総務係長	令和2年5月31日
正 職 員	佐々木晶子	購買課購買係 (兼)総務課総務係	購買課購買係	令和2年6月1日

[編集後記]

本来であれば今頃、東京オリンピック・パラリンピックが開催され熱戦が繰り広げられているはずでした...早くコロナが落ち着き来年、東京で躍動するアスリートの姿を見たいものです。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)